

こんにちは。この夏、農大の世界展開力強化事業を通してサンパウロ大学に留学しました、国際農業開発学科四年の伊藤将大です。

私は三年次の夏から一年間の留学プログラムを利用して留学していたのですが、この制度の素晴らしい点は、休学をせずに留学し、予定通り四年間での卒業が可能なところ です。さらに、その間の農大への授業料はかからない上に、農大での成績によって留学期間中に奨学金をもらうこともできます。このように、卒業時期の遅れやお金に関する心配をしなくていいのは、留学をする上でとても重要なことだと思います。

留学に向けての募集や試験は11月にあり、四月か八月の出発を選ぶことができ、個人個人の事情に合わせて留学の時期を選ぶことができるのも、とても素晴らしいと思います。

僕が今回の一年間の留学を決めた理由はいくつかありますが、やはり留学のまえの年に一度ブラジル共和国に渡航したことがあったことが一番大きいと思います。僕は長期での留学を見越して短期でもその国に訪れることが留学をスムーズに開始できると考えていたため、個人的に農大の教授から紹介していただいた地域に訪れました。完全に一人での渡航だったため不安などももちろんありましたが、そのことが僕をより大きく成長させてくれた上に、自分の中の世界観が非常に広がりました。渡航以前にもっていたブラジルという国への未知な感情や不安を取り除いただけでなく、長期留学をするという決意を固めることができました。もし、農大に入学されてから中南米への留学を考えている方がいらっしゃるのであれば、一度短期で留学することをお勧めします。また、今はメキシコ、ペルー、ブラジルの三か国において農大から引率教員を伴った短期派遣制度ができたため、簡単に訪れることができます。一度行ったことがある国では自分のなかで安心するだけでなく、家族も安心して送り出す準備ができるため、なるべく参加することをお勧めします。

僕は短期でも長期でもブラジルに渡航しましたが、長期留学で得たものがとても大きいというのは当然のように思います。ブラジルがもつ独特の雰囲気、文化、音楽、スポーツ、人種。そのすべてが僕のこれまでの先入観を壊し、新しい考え方をもたらしてくれました。僕はこれまでに幾度となく海外に訪れましたが、やはり一年間という期間はその人の人生の一部を変えることができます。

慣れていて快適な日本での生活で得られるものももちろんたくさんありますが、一度地球の裏側まで足を延ばしてみるのもいかもしれません。必ず、自分の中の「世界」が大きく広がると思います。